

令和3年8月11日から8月15日にかけての大雨に関する気象速報

8月11日朝に東シナ海から九州に停滞していた前線は、12日には関東の東海上までのび、15日にかけて本州付近に停滞しました。この前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、北陸・東海・関東甲信地方の広い範囲で大雨となりました。

この大雨の影響により、北陸・東海・関東甲信地方では、土砂災害に伴う人的被害のほか、浸水害、洪水害などが発生しました。また、停電や断水、交通機関の運休など、ライフラインへの影響がありました。

このときの気象状況を取りまとめる目的で本資料を作成しました。

気象速報は次の URL からご覧下さい。

<https://www.data.jma.go.jp/tokyo/shosai/bocho/bosai/disaster/20210811-0815/20210811-0815.pdf>

目次は以下のとおりです。

- 1 気象の状況
- 2 警報等の発表状況
- 3 被害の状況
- 4 気象台の対応状況

問合せ先：東京管区気象台 気象防災部 防災調査課 担当 岩澤
電話 042-497-7217 FAX 042-495-3180